



イーソーコ総研

イーソーコ総合研究所
(遠藤文社長、東京都港区)

は、光と膜で倉庫を装飾する「倉庫コスチューム」の提案を推進している。

従来の改装工事などに比べデザイン自由度が高

ナイ向けにPRしている。外装には、酸化チタン光触媒膜やメッシュ膜を使用。豊富な種類を取りそろえており、多彩な表現を実現した。また、外観が目立つことから、テナント入居者

止にも貢献する。

「倉庫コスチューム」推進

く、短期間での施工を実現。スタイリッシュな外観に変わることで建物の資産価値が上がるとして、倉庫オーナー

自由なデザインでスタイリッシュな外観を実現

の増加に期待できるなど、集客にも効果を発揮。夜になりLED(発光ダイオード)ライトを点灯させれば、昼とは違った外装を演出できる。

内装も、立体的で自由な

倉庫コスチュームは、空き倉庫を改装しオフィス、店舗、スタジオなど他用途へコンバージョンする「倉庫リノベーション」のアイテムの一つ。同事業を2006年から

光と膜で外壁を演出

手掛けており、既に1万平方メートルの改装プランを立案した実績を持つ。昨年末にはフェイスブックに事業のページを立ち上げ、PRを強化している。

今後は、テント膜を扱う太陽工業、LEDライトなど屋内外の看板を製作するウララネオン(板野遵三郎社長、港区)とともに、倉庫コスチュームのプロデュースにも注力。倉庫以外にもオフィスビル、イベントの装飾など他用途に提案していく。

(山上 隼人)